

柳井医療センター だより

令和2年 1月

〈発行所〉
国立病院機構
柳井医療センター
〈発行責任者〉
住元 了



院長 住元 了

平素より柳井医療センターの病院運営にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。令和2年度を迎え新年のご挨拶を申し上げます。

昨年5月、新しい天皇皇后両陛下のご即位に伴い、元号が平成から令和に代わりました。米中貿易摩擦、消費税アップで景気の腰折れが指摘される中、今年は東京オリンピック・パラリンピックが7～8月に開催され令和の時代を気分だけでなく、インバウンドで大いに盛り上がるだろうと確信しています。ただ、昨年来続いている米・中・南北朝鮮、香港、イランが織りなす極めて不安定な国際情勢が米国大統領選の終わる11月まで予断を許さない状況にあることが最大の問題です。韓国が中国に飲みこまれ完全に赤化するのか、南北朝鮮の統一（南呑）、北の非核化はどのようなのか、米朝関係、米中の覇権争いは最終的にどのようなのか、一国民として不安は尽きません。

さて、医療に話を転じますが、昨年10月からの控除対象外消費増税で診療報酬改定があったことは皆様方のご存じのことと思います。増税分を初診・再診料、入院基本料に上乗せするというものですが、その点数が、病院の規模と機能によって、損得があるやに伺っています。当院では過去最高の医業収益と医業費用を経常しましたが、その差額である経常収支差（損益）は予想通りの額であったので今回は適切に点数設定してくれたなと感じています（消費税率が5%から8%に上がった時は計算ミスがあった）。それと、新聞に突然実名報道された再編、統合が必要な424病院の話ですが、遅々として進まない地域医療構想を一気に進めるために、厚生労働省が意図的にマスコミにリークしたと疑わざるを得ません。今回は公立病院と公的病院のそれぞれの診療実績の多寡が再編統合の基準になりましたが、多額の繰入金（税金）を貰ってる公立病院と多額の借入金返済で経営的に苦しい公的病院を同じ土俵に載せて議論すること自体、不公平であると思います。一般医療に関しては、経営のいい病院が勝ち残り、そうでない病院は淘汰されるのが自然な形だと考えます。更に、自治体は災害、救急、結核、島嶼山間部医療などの真に不採算な領域のみ、繰入金で支援すべきと考えますが、皆様方は如何お考えでしょうか。

最後に当院は地域医療構想調整会議では全病床重度の意識障害を含む障害者、難病患者等を主として診る慢性期病院として報告し、認知されています。加えて、地域住民の急性肺炎、急性腹症、急性脳卒中、意識障害などの急性疾患などにも丁寧に迅速に対応して参る所存です。地域に愛され頼りにされる病院を目指して頑張りますので引き続き宜しくお願い申し上げます。

理 念

- 一 良質の医療を提供します
- 一 素晴らしい療養環境を提供します
- 一 患者満足度の向上に努めます
- 一 職員満足度の向上に努めます



診療部長

松本 信夫

「古くて新しい薬 ～漢方薬～」

医師コラム

漢方薬は、何千年もかけて、食物由来の比較的無害な、いろいろな生薬が組み合わさって出来た薬です。医者になりたての頃は「胡散臭い」、と見向きもしませんでしたが、父親（内科医）が生前「使ってみるといいが・・・」と頻りに云っていたことを思い出し、試しに使ってみたところ、ちゃんと効果が出まして、ここ数年その魅力にハマっております。

今回は、昨年よく処方した中から3種類ですが紹介してみたいと思います。

最初は時期的（年末・年始）に云いまして二日酔いに効く漢方！ということで

五苓散・・・この薬はすでに千八百年前の中国・三国時代に使われております。薬効はいろんな臓器（細胞内）の余分な水を捌いてくれる作用（身体中の水の分布のアンバランスを取ってくれる作用）で、脳浮腫の改善効果として、例えば二日酔いや乗り物酔い、あるいは頭痛（ひどい頭痛持ちだった曹操あたりも華佗に処方してもらったのではないのでしょうか？）があります。また、三半規管の内リンパ水腫の改善効果としてメニエル病などのめまいに、腸管の水も捌きますので、嘔吐下痢にも効果があります。さらに、抜く管を留置できない胸水（胸に水が溜まる）や腹水（腹に水が溜まる）の患者さんにも処方し、効果をみました。副作用がないので非常に使いやすい薬です。

次に抑肝散・・・この薬は中国・明の時代の小児の薬ですが、私は身内から試しました。まず、特老に入所した伯母。入所してから、もともとあったイライラな性格が高じて、夜間眠らず、昼夜逆転していると連絡がありました。早速処方してみました。その日以来、このことで電話がかかることはありませんでした。また、娘の里帰り出産後に孫の夜泣きが続いて母子ともにぐったりしていた際も、まず母親に飲ませ、授乳から間接的に投与（母子同服）としました。母子ともに気が高ぶっているのを鎮静させるため、日を追うごとに、母子とも眠れるようになっていきました。外来ではイライラを持った高齢の認知症の方に使用しました。ただ、高齢者に投与する場合は、甘草という生薬が入っておりますので、偽アルドステロン症（高血圧、浮腫、低カリウム血症など）という副作用に注意が必要で、減量して使用しました。

最後に芍薬甘草湯・・・これも三国時代からの鎮痛薬です。こむら返り、月経痛、ぎっくり腰、胃痙攣、結石痛（胆石・尿路結石）の主に「ぎゅーとする」痛みやしゅっくりにも効きます。筋肉の緊張と痛みをとる生薬：芍薬・甘草の2種類が入っており、即効性（生薬数の少ない漢方薬は即効性）です。平滑筋だけでなく、横紋筋の痛みにも効くという面白い薬です。今でも多くの患者さんに処方しております。この薬にも甘草が入っておりますので、偽アルドステロン症に注意しつつ使用しております。

以上、病気というより状態に応じて3種類の漢方薬を紹介しましたが、西洋薬にはない面白い効果がたくさんあります。今後も必要に応じて試してみたいと考えております。

ヒーリングコンサートを行いました!!

10月17日（木）14:00～15:00においてピアノリサイタル「ヒーリングコンサート」を行いました。

昨年、開催して大好評につき今年も患者、地域の皆さまから熱烈な「アンコール」（笑）をいただき開催を決定。今年は更にパワーアップし、なんと、川柳や絵手紙を募集、展示し、会場は非常に賑やかになりました。

演者の水面月のみなさんには演奏もちろん、トークでもバンド内でのチームワークを合わせるコツ等をラグビーのポジション等を交えながらわかりやすく楽しく解説していただきました。雨が降り足元が悪い中にも関わらず、



100人を超える参加者のもと、自然と手拍子や拍手が飛び交い、演者と患者とご家族さん、地域の皆様、職員が「One team」となって大盛況のもと無事コンサートを執り行うことが出来ました。



外来管理診療棟・サービス棟完成記念式典



庶務班長
中村 卓記

令和元年11月に当院の病院整備事業が完了したことにあわせて、このほど外来管理診療棟・サービス棟完成記念式典を開催いたしました。式典にはご多用にも関わらず、ご参加いただきました皆様には心よりお礼申し上げます。

式典は住元病院長の挨拶ではじまり、関係者の方々から数多くの祝辞を頂戴いたしました。完成した病院敷地を空撮映像で紹介した際には、昔の病院を知る方々から思わず驚きの声があがる場面もございました。

完成記念のテープカットは外来棟ホールにて盛大に挙行いたしました。その後は完成された施設見学会を行い、一新された自然周遊歩道を実際に歩いて頂きました。

本式典をもちまして、平成23年から始まった整備事業は完了いたしました。長年にわたる工事で関係者の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。医療を担う病院としてだけでなく地域の方々の憩いの場としても整備することができました。

この度の整備を機に、より一層皆様に愛される病院となるよう職員一同努力いたしますので、今後とも柳井医療センターをよろしく願っています。



第8回国立病院機構柳井医療センター 公開講座を開催しました。



東町長挨拶

柳井医療センター

第8回目の公開講座を令和元年11月30日(土)に田布施町で開催しました。柳井医療センターの11月の活動を言いますと、8日(金)～9日(土)に国立病院総合医学会で名古屋へ、14日(土)に外来管理棟竣工式典を開催し、年内最後のピックアップという位置付けで開催しました。講演前にはすっかり恒例となった看護師と心理療法士による健康チェックと簡易知能評価検査を行い、悩み相談に答えたり、長く健康寿命を保てるよう生活習慣等についてアドバイスさせていただきました。講演会の開会にあたり東田布施町長のご挨拶を頂き、医療講演では誰でもわかりやすく役に立つという思いをコンセプトに、二部構成とし、1. 経皮内視鏡の胃瘻造設術、頭痛、2. 認知症・腰痛というテーマで行いました。会場のみなさんとゲームをしたり、体操をしたり、熱心な質疑応答が行われたりと聴き手も参画する会になりました。

今後も二次医療圏内で公開講座を継続し各地域との密接な関係作りを行っていく予定です。田布施町のみなさん、また何年か後に戻ってきますので、お元気な姿を見せてください。お会い出来るのを心から楽しみにしています。



恒例の健康チェック



講演の様子



大人気のやなぎよ



地域医療連携室コーナー

診療科医師紹介

内分泌・糖尿病内科 **大野 晴也** 医師 診療日：毎週金曜日

Q 診療科の特色を教えてください
(もしくは専門領域は何ですか?)

A 主に糖尿病患者さんの血糖管理、全身管理や甲状腺疾患に対する治療を行っています。

Q 得意とされている疾患について教えてください

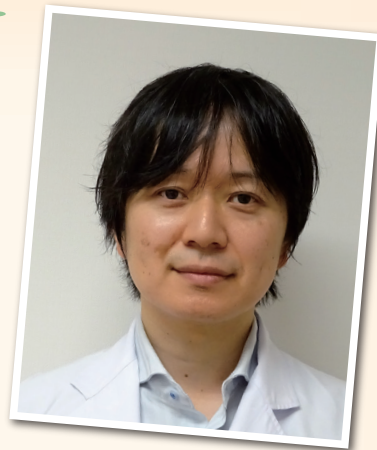
A 6人に1人が糖尿病の可能性があると言われていた昨今、糖尿病は国民病ともいえる疾患です。ここ数年での薬剤の進歩も著しく、選択の幅も随分と広がってきました。疑問点などあればご相談いただければ幸いです。

Q 先生のご趣味は何ですか?

A 休日のバーベキューです。昔はサックスなど吹いていましたが、今は時間や場所がなくて難しいですね。

Q アピールポイント・一言メッセージなど

A 糖尿病は治療をしたらすぐに完治して通院が不要となるようなものではなく、長く上手に付き合っていくことが大事です。また目標とするゴールもひとりひとり異なります。一緒にベストな治療法を探っていきましょう。



腎臓内科 **田村 亮** 医師 診療日：毎週木曜日

Q 診療科の特色を教えてください
(もしくは専門領域は何ですか?)

A 腎臓内科では、腎機能障害や蛋白尿・血尿を扱います。それらに至る原因は幅広く、最良の治療をするために腎生検を行うこともあります。また、腎障害が進行した方には透析療法を行います。そちらも腎臓内科が担当します。

Q 得意とされている疾患について教えてください

A 蛋白尿・血尿の原因を検索するために、採血や腎生検を含めて、幅広い角度から診断することを心がけております。

Q 先生のご趣味は何ですか?

A テニス

Q アピールポイント・一言メッセージなど

A 2019年4月から週1回木曜日に勤務させて頂いております。柳井地区の医療に貢献できるように頑張りますのでよろしくお願い致します。



御相談、御予約は地域医療連携室まで

第4回神経難病研修会を開催しました

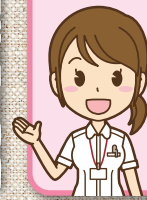
昨年11月24日(日)当センター大会議室にて第4回神経難病研修会を開催いたしました。神経難病患者やご家族から、診断・療養さらには看取りまでの気持ちの変化などについてお話し頂き、参加者および関わったスタッフ同貴重な機会となりました。短いグループワークとなりましたが患者・ご家族の思いに触れることで、日ごろの関わりを振り返られたのではないのでしょうか。アンケート結果でも答えて頂いた方全員が「有意義な研修であった」と回答していただきました。参加いただいた皆様ありがとうございました。また、ご講演いただいた患者さま、ご家族さまに深謝いたします。

来年度も有意義な研修会が開催できるよう企画していきたいと思います。



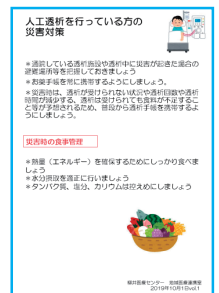
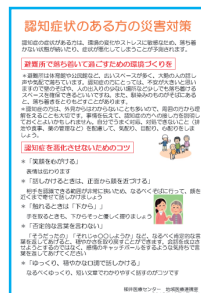
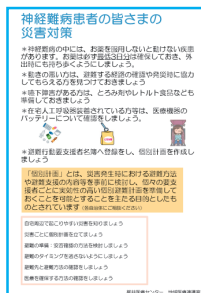
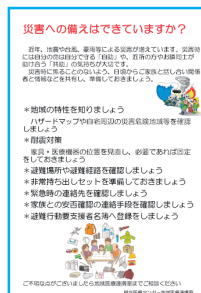
今回の研修では、患者・ご家族が意思決定を行う際、スタッフの介入時期の難しさ、そして生きがいを見つけることの大切さを改めて感じました。患者・ご家族に対して早めの相談や介入を行い意思決定を充分に行える時間作りができるような関わりを行っていきたくです。

参加したスタッフの声



災害時の備えについて

近年、地震や台風、豪雨等による災害が増え、いつ当地域でも被害に遭うかわからない状況です。現在、地域医療連携室では患者およびご家族の皆さまへ災害の備えについての意識調査を行い、「自助」における啓発パンフレットを配布しています。



多職種で行うエンドオブライフ・ケア研修 in 柳井・岩国



- 内容**
1. 苦しむ人の援助と5つの課題
 2. どのような私たちがあれば支えを強めることができるかを知り実践する (グループワーク・ロールプレイ)
 3. 意思決定支援 (ACP)のための援助的コミュニケーション

日時: 令和2年1月26日(日) 午前10:00~午後4:00

場所: 柳井医療センター2F大会議室

講師: エンドオブライフ・ケア協会認定ファシリテーター

対象者: 医療介護従事者

参加費: 無料 (事前申し込みが必要です)



人生の最終段階にある人を援助するものとしての悩みを共有し、どのような私たちがあれば苦しむ人の支えを強めることができるかそのヒントをつかむ機会となります。多職種で行うことのメリットを大事にします。たくさんのご参加お待ちしております。

主催: エンドオブライフ・ケア協会 共催: 訪問看護ステーション柳井・岩国支部/柳井医療センター



認知症疾患医療センターコーナー

新年のご挨拶

令和2年、新年を迎えるにあたり
御挨拶申し上げます。

柳井医療センターは脳神経・筋疾患の中核的病院として神経難病や頭痛、脳卒中などの神経疾患の医療・ケアに関わってきました。さらに2015年からは山口県より柳井二次保健医療圏を主とする地域型認知症疾患医療センターとして指定され、認知症の鑑別診断、治療方針の決定などを行っております。

認知症の方が地域で安心して暮らしていくためには、地域医師会やかかりつけ医の先生方・包括支援センター等の行政の方々、保健所やケア・介護の関係者等との連携・協力が不可欠です。さらに認知症を正しく理解した上で地域住民や民生委員の方々のサポートも必要となります。

令和元年6月18日に認知症施策推進関係閣僚会議による「認知症施策推進大綱」では基本的な考え方として「共生」と「予防」が認知症対策の車の両輪として掲げられました。この基本的な考え方の下、「1. 普及啓発・本人発信の支援、2. 予防、3. 医療・ケア・介護サービス・介護者の支援、4. 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援、5. 研究開発・産業促進、国際展開」が5つの柱として示されました。

当センターでもこれらのことを踏まえつつ地域にとって必要な認知症医療・ケアを推進して参りたいと思いますので引き続きご協力のほど宜しくお願い致します。

認知症疾患医療センター センター長（副院長・脳神経内科）

宮地 隆史



認知症疾患医療センター合同研修会のご案内

日時：令和2年2月16日(日) 13:00～16:00

場所：山口県総合保健会館2階多目的ホール

講師：『認知症診療に関する最近の話題』

(予定)

札幌医科大学神経内科学講座 **下濱 俊教授**

『動画でみる認知症の症状とその対応』

香川大学医学部附属病院精神科神経科 **中村 祐主任教授**

お問い合わせ：山口県立こころの医療センター内 認知症疾患医療センター

☎：0836-58-5950



是非、ご出席
ください。

柳井医療センター公式
ゆるキャラ『やなぎよ』

毎年恒例のその年に話題になった言葉に贈られる「ユーキャン新語・流行語大賞」が昨年12月初旬に発表され、ラグビーワールドカップで国内中が盛り上がりベスト8入りを遂げた日本代表がスローガンにしていた『ONE TEAM』が年間大賞に選ばれました。トップテンの中には、新年号『令和』や『免許返納』という言葉が選ばれました。また、特別賞として元米リーグ・マリナーズのイチロー外野手が引退会見で残した名言『後悔などあろうはずがありません』という言葉も選ばれました。

2015年、当センター内に認知症疾患医療センターを立ち上げて以降、外来受診される患者・ご家族の皆様にご協力いただき、高齢者の自動車運転についてアンケート調査を行うなど、自動車運転に関する取り組みを行ってまいりました。

当医療圏のような公共交通機関が未発達な地域では、『免許返納』と一言で簡単に済ますことはできず、運転免許証を返納することで、これまでの生活が一変し、その後の生活状況や認知症状の悪化を招く恐れがある等、返納を考える側も返納を勧める側もまだまだ懸念されることが多い実情があります。当センターでは、運転免許返納前に、免許証を返納することで何に困るのか？現在の生活を少しでも長く続けていくにはどのようにご家族の協力や社会資源・介護保険サービスの利用を検討していけばよいのか？などについて、患者・ご家族で話し合っていただくよう、また時には患者・ご家族と一緒に検討しております。「無事故無違反だからまだ大丈夫」「長年運転手の仕事をしてきたから運転には自信がある」等、運転技術に自信をもっておられる患者も少なくありません。運転免許証の保有期間中、無事故無違反で、『後悔などあろうはずがありません』と自動車運転を終えることができるよう、また、『免許返納』後も自由なく過ごせるそんな地域になるよう、切に願っております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

＜認知症疾患医療センター スタッフ一同＞

編集後記

互助会忘年会を開催しました。

令和元年12月19日(木)に柳井医療センター互助会忘年会を行い、職員数約310名のうち92名の職員が参加しました。(互助会とは慶弔や行事の活動を行う病院とは別の組織)

食べて、飲んで、出し物をして、ピンゴゲームを行ってとあっという間に2時間という楽しい時間は過ぎてしまいました。普段から仲の良い者同士、初めて話す者同士、それぞれ交流を行い、チームワークを向上させ、普段の病院運営に寄与出来ればこれほど嬉しいことはありません。今後も職種間の連携の取れたチーム医療の環境整備に力を入れていきますので、よろしくお願い申し上げます。



病院の統計

年 月	当院平均 患者数(人)			紹介患者数(人)
	入 院		外 来	
	一 般	療養介護		
R1.11	194.5	77.0	82.4	52

一般病床200床、療養介護病床80床

【紹介率】

単位：％

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
28'実績	72.4	62.8	69.7	64.9	62.1	73.8	60.3	61.3	67.4	67.4	65.2	63.8
29'実績	60.4	70.5	66.9	61.5	69.2	68.8	67.2	59.4	50.7	71.3	69.3	70.2
30'実績	63.5	68.0	62.8	78.7	64.6	73.6	60.3	69.0	74.3	75.0	73.5	83.2
31'実績	77.0	77.0	75.8	77.9	84.5	73.1	79.3	82.6				

【病床利用率】※一般病床のみ

単位：％

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
28'実績	95.6	93.7	94.1	94.7	94.8	96.5	96.2	97.0	97.0	96.9	97.1	95.9
29'実績	94.9	97.7	98.5	97.4	99.1	98.5	97.7	97.5	97.5	97.5	98.7	97.7
30'実績	97.0	96.8	96.5	97.1	96.5	96.9	98.5	98.1	98.9	98.4	98.3	97.2
31'実績	97.7	96.9	97.1	95.6	96.9	97.0	97.9	97.3				

外 来 診 療 担 当 表

		月	火	水	木	金	備 考
内 科	初 診	松本 信夫	西川 智和	松本 信夫	松本 信夫	松本 信夫	要 予 約
	再 診	宮地 隆史	西川 智和	宮地 隆史	宮地 隆史	宮地 隆史	
	再 診	西川 智和	西川 智和	西川 智和	西川 智和	西川 智和	
外 科	初 診	池田 政宣	竹本 将彦	住元 了	池田 政宣	松本 富夫	火・木曜日 午後手術日
	初 診	山本 将輝	山本 将輝	田村 泰三	田村 泰三	安澤 紀夫	
	再 診	竹本 将彦	松本 富夫	安澤 紀夫	竹本 将彦	安澤 紀夫	
腎 臓 内 科		—	—	—	田村 亮	—	
整 形 外 科		—	—	徳本 真矢	猫本 明紀	—	
循 環 器 内 科		藤井 裕人	—	武田 充史	—	—	
呼 吸 器 内 科		—	大谷 俊人	—	—	宮本真太郎	
肝・胆・膵・消化器科		盛生 慶	—	—	—	—	
糖 尿 病・内 分 泌 内 科		—	—	—	—	大野 晴也	
内 視 鏡		松本 信夫	—	松本 信夫 第1・3週 大谷 里奈	—	第2・4週 高砂 健	
皮 膚 科		—	高萩 俊輔	—	—	—	
泌 尿 器 科		広島大学病院医師	—	—	—	—	午後のみ

※発達療育相談外来（随時 受診には事前予約が必要です）

は広島大学医師

令和2年1月1日現在

腹部救急診療

24時間365日体制で診療しています。

対象患者
激しい腹痛、心窩部痛、
側腹部痛、腰痛、肛門会陰部痛、
鼠径部痛、下血症例



救急担当医は次のようになります。（※時間外の体制）

	月	火	水	木	金	土	日
担当医	山本	池田	松本(當)	竹本	当番外科医	当番外科医	当番外科医

※消化器外科医が病院内に24時間365日常駐しています。

CT・MRIの検査予約を受付ています

当院では、CT及びMRIの検査予約を行っています。
撮影予約時間は CT 13:00～16:00 MRI 10:00～16:00 の間
で30分ごととなります。
下記の連絡先に予約を申し込んでください。電話での予約以外にインターネットにより予約登録することができます。
インターネット環境があれば、インターネットによる画像閲覧が可能となりますので撮影画像をその日に見ることができ、放射線専門医による読影結果も翌日にはインターネットまたはFAXによりお届けいたします。
また、撮影した画像はCDまたはフィルムにてお渡しすることも可能です。

CT・MRIの予約受付先

国立病院機構柳井医療センター放射線科受付
担当者 山本(やまもと) 電話:0820-27-0211 内線538 または 229
※なお、FAXでの申し込み及びその他の診療予約については地域医療連携室へ
申し込んでください